

# たじみん昼話 141

## 9月30日の終業の日に、桔梗が伝えたこと

ききょうが9月30日の終業の日に伝え事を箇条書きで記します。

①昨年、イチヨウの木の変化に例えて、努力を少しずつ積み上げていくことで、大きな変化を起こせる。これは自然の摂理からも必然だという話をした。

②今回のテーマは、最後まであきらめずに考え抜いて行動するだ。

③話は3部構成だ。第1が、電気の科学館の研修で見た女性アテンダントの話。第2が、高校時代の部活動の話だ。3つめがまとめだ。

④中部電力の電気の科学館の目的は、電気や科学や理科の事を知ってもらうことだ。そして彼女たちの使命は、入館者の増加だ。40人の彼女達の仕事のメインは、館の展示物の説明やイベント開発だ。

彼女たちは、入社2か月前に、国語の教科書3冊分ぐらいのマニュアルの暗記を命令される。そこには展示物の説明もある。しかし彼女たちの展示説明は、本質は同じだが、各自の知識を活用して説明をアレンジして、ほぼ別物と言えるほど個性を出したのになっている。彼女たちの仕事に解答はない。目標があるだけだ。子供の笑顔を見たい、考え続けて変化させたいの一心が、彼女たちの勤務姿勢を作り上げる。

だから展示物1つに40通りの説明が存在する。

彼女たちのイベント創造力は凄い。だからワンピースコスプレ世界大会優勝者イベントや夜の縁日イベント等、人気企画を思い付くのだろう。でも、その基本は考え考え抜くことだという。自ら仕事を作り出し、昨日の自分に少しでも付加価値をつける。毎日がその繰り返しだという。この小さな努力の積み重ねが、壮大なイベント企画に繋がるのだという。ここで、桔梗は働くことの本質を学んだ。

⑤これは、仕事だけではなく、高校においても必要なことだ。

⑥高校の部活動の監督に言われた言葉が、「偏差値75のプレーをしろ」だった。短い練習時間しかないが、自分達で全てのプレーの意味を考え、考え抜いて工夫して、全てのプレーに手を抜くことなく、それを集大成して競合に勝てと言う意味だった。

⑦常識と呼ばれるものを問い直し、根拠が不明なものは自分たちで解釈し直して、9回終了時点で相手より1点多いことを目標に設定して、練習方法や試合当日に試合場の把握すべきことを徹底的に考えた。

⑧バウンドは「前進して取れ」も、物理的考察によるアウト取得確率を優先したプレーに変更した。試合前には、気温や湿度、外野フェンスの反発力、地面の固さや芝の向き、試合球とバットの反発力を確認し、相手の練習や体操の様子をチェックし、柔軟性やボールの運び方、玉の癖を頭に叩き込み、試合中は、全員でサインを送り合って、相手の逆をつく動きを行う。

グラウンドの固さ、芝の目、風の状態を常時チェックした。塁を取られても、次の塁へ

誘導する隙を見せてそこでアウトする作戦を取った。攻撃時は強打より相手の間を抜くことを優先した。相手が想定する逆回転のボールを放つようにした。

ウェイトトレーニングや人体力学、その他、物理学、世界史や日本史に出てくる兵法、家庭科の栄養学等、様々な科目の知識を活用して工夫を続けて練習し目標達成することができた。

後日、GS 高の前監督と同僚になったとき、「お宅の学校は一番警戒していたんですよ。何をしてくるかわからない学校でしたから」と言われた。

⑨電気の科学館の女性は、理系出身者が3人だけだ。しかし、理学や文学や統計学、心理学等のあらゆる知識を活用して、今も入館者を増やし続けている。目標を達成するために、あらゆる知識を総動員して、徹底的に考え抜いて取組む。目標を達成した部員と電気の科学館の女性たちに共通する部分だ。

⑩将来、大工、法律家、美容師、医者等、分野は違っても、目標を達成するために、あらゆる知識を使って考え抜くことは必要なことだ。

⑪学校が、進路に関わらず多くの教科を学んでいる理由もここにある。「自分は理系だから文系だから、他の科目は関係ない」ということはないのだ。工夫という努力をするときに、学んだ教科を活用するのは君達自身だ。

⑫私たち教員は、多治見高校の生徒や先生方の目的を達成するために、情報を集め、個々の生徒を想像しながら、徹底的に考え抜く日々を送っている。

⑬例えば、職員室前にある、「多治高リカちゃん」が紹介する、理科の実験コーナーや、この「桔梗のつぶやき」も、その目的を達成するために考えた工夫の1つだ。生徒諸君の考える力を鍛錬するために、「考えて行動して修正して」をひたすら繰り返しながら、諦めずにやり続けている。

⑭例え、明後日、隕石が落ちてきて地球が消滅することが分かっているとしても、誰かに笑われても、私たち教員は、この目標を達成するために全力でやり続けるでしょう。それが教師として、また人として、生きた証を残すために自分達がやるべきことだと理解しているからだ。

⑮これからいよいよ3年生は受験が本番だ。

3月31日まで、自分を信じて絶対にあきらめないことだ。そして合格する日まで、考え抜き行動して、目標を勝ち取って欲しい。

⑯たとえその次の日に地球が消滅するとしても。

これで 終わります。